

2017（平成 29）年度 事業計画書

2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日

I	2017 年度事業計画 事業の体系図	1
II	2017 年度事業計画一覧	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

本部



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2017(平成29)年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
公1 絵本美術館の設置運営					
ア 絵本等に関する展覧会・講演会・ギャラリートーク等の開催					
■ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等					
ちひろ美術館・東京での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	＜開館40周年記念Ⅰ / 日本デンマーク国交樹立150周年＞ ちひろと世界の絵本画家コレクション わたしのアンデルセン	人の世の夢や真実を美しい童話につむぎ、創作童話の祖として知られるアンデルセン。時代も国境も越えて読み継がれるその童話は、ちひろをはじめ、多くの画家たちにインスピレーションを与え、絵に描かれてきた。本展では、ちひろがアンデルセン童話を描いた紙芝居や童話集、絵本の原画などのほか、世界の絵本画家たちが多種多様な解釈と表現で描いた作品も展示する。	3月1日～5月14日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅱ＞ ＜企画展＞高畑勲がつくるちひろ展 ようこそ！ちひろの絵のなかへ	古今東西の美術や文学に通じ、アニメーションづくりの第一線で活躍してきた映画監督の高畑勲は、ちひろを「東アジアの子どもの尊厳をとらえた稀有な画家」と評し、その作品から創作のインスピレーションを得てきたという。高畑の審美眼を通して、ちひろの絵の魅力を発見し、これまでにない演出でちひろの世界を“体感”する。	5月19日～8月20日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅲ＞ちひろの詩-絵は詩のように-	「詩のようにことばの短く、うつくしく、いろいろなことを思いうかべることができる」童話が好きだと語ったちひろは、1960年代後半にことばと響きあう詩情を湛えた絵本で新たな表現を切り拓いた。若いころから、万葉集や宮沢賢治の詩にも親しんだちひろの感性を探り、その詩情あふれる絵の魅力に迫る。	8月24日～11月5日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅳ＞ちひろの歩み	「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」というちひろの心を受け継いで活動してきたちひろ美術館では、その画風の特徴や生き方など、さまざまな側面から調査研究を重ねてきた。本展では最新の研究成果も含めて、ちひろの55年の人生と画業の足跡を改めて展望する。	11月8日～2018年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【世界の絵本画家コレクション展】	＜開館40周年記念Ⅰ / 日本デンマーク国交樹立150周年＞ ちひろと世界の絵本画家コレクション わたしのアンデルセン	ちひろ美術館コレクションのなかから、清水良雄や初山滋、ヤナ・キセロヴァー、クヴィエタ・パツオウスカー、ボリス・ディオドロフ等、日本や世界の画家たちがアンデルセンの童話を描いた作品を展示する。	3月1日～5月14日	ちひろ美術館・東京
	【企画展】	＜開館40周年記念Ⅰ / 日本デンマーク国交樹立150周年＞ ＜企画展＞デンマークの心 イブ・スパンク・オルセンの絵本展	デンマークの国民的画家であり、国際アンデルセン賞画家賞を受賞した絵本画家でもあるイブ・スパンク・オルセン。代表作『つきのぼうや』『アンデルセンの童話』などの絵本原画のほか、ポスター、アニメーションなどを展示し、その魅力を紹介する（共催：メディアリンクス・ジャパン）。	3月1日～5月14日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅱ＞ ＜企画展＞奈良美智がつくる茂田井武展 夢の旅人	「茂田井武の美意識は生活のなかに息づき、それゆえ逆説的に崇高だ。彼の絵のなかには西洋も東洋もなく、ただ純粋な魂だけがある。」と語るアーティスト・奈良美智が、茂田井の絵を選び、構成する。欧州放浪のなかで描いた「Parisの破片」や絵物語「夢の絵本」等、初公開作品も含めて、時代を超えて奈良の心に響く茂田井の作品を展示する。	5月19日～8月20日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅲ＞ ＜企画展＞奇喜怪快 井上洋介の絵本展	絵本、漫画、イラストレーションなど、多彩な分野で活躍した画家・井上洋介。本展では、初の絵本『おだんごぼん』（1960年）から、ロングセラーとなった『くまの子ウーフ』、1970年代から展開した自作絵本など、絵本の仕事を中心に、タブローや漫画などの作品も展示する。鬼気迫る圧倒的な描写に、ナンセンスやユーモラスな表現を融合させた独自の表現世界を紹介する。	8月24日～11月5日	ちひろ美術館・東京
		＜開館40周年記念Ⅳ＞日本の絵本100年の歩み	1910年代に子ども向けの雑誌「子供之友」や「赤い鳥」が相次いで創刊され、大正デモクラシーの機運を背景に童話、童謡、童画の運動から芸術性の高い絵雑誌や絵本が生まれた。第二次世界大戦を経て、ちひろをはじめとする個性的な絵本画家たちにより、絵本は再び隆盛期を迎えた。今日までの100年におよぶ日本独自の豊かな絵本表現の軌跡を検証する。	11月8日～2018年1月31日	ちひろ美術館・東京
	【講演会】	「わたしのアンデルセン」展関連企画 福井信子講演会「北欧の子どもの本」	東海大学文学部北欧学科教授の福井信子が、北欧の子どもの本の魅力について語る。	4月15日	ちひろ美術館・東京
		「奈良美智がつくる茂田井武展」関連企画 広松由希子講演会「茂田井武と夢の旅」	絵本家の広松由希子が、茂田井武の表現と魅力について語る。	6月24日	ちひろ美術館・東京
		「井上洋介の絵本展」関連企画 片山健×土井章史 対談「井上洋介を語る」	絵本画家・片山健と編集者・土井章史が、独自の世界を構築した画家・井上洋介の表現とその魅力について語る。	9月24日	ちひろ美術館・東京
		「ちひろの歩み」展関連企画 松本猛講演会「母、いわさきちひろ」	いわさきちひろの息子である松本猛が、母ちひろの人生や画家としての歩みについて語る。	11月26日	ちひろ美術館・東京
		「ちひろの歩み」展関連企画 寺本美奈子講演会「印刷技術からみるちひろの歩み」	キュレーターであり実践女子大学非常勤講師の寺本美奈子が印刷技術の進化をふまえてちひろの歩みを語る。	12月10日	ちひろ美術館・東京
	【ギャラリートーク】	「イブ・スパンク・オルセンの絵本」展ギャラリートーク	生前のオルセンと35年の交流のある穂積保(こどもの本WAVE代表)が展覧会の見どころを語る。	3月11日	ちひろ美術館・東京
		松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろの息子である松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	3月12日、6月4日、9月3日	ちひろ美術館・東京
		夏休み子どもギャラリートーク	夏休み期間中、小・中学生を対象としたギャラリートークを行う。	8月7日、14日	ちひろ美術館・東京
		展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所	
■安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等					
安曇野ちひろ美術館での展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【ちひろ展】	<開館20周年記念Ⅰ> <企画展>高畑勲がつくるちひろ展 ようこそ！ちひろの絵のなかへ	古今東西の美術や文学に通じ、アニメーションづくりの第一線で活躍してきた高畑勲は、ちひろを「東アジアの子どもの尊厳をとらえた稀有な画家」と評し、その作品から創作のインスピレーションを得てきたという。高畑の審美眼を通して、ちひろの絵の魅力を発見し、これまでにない演出でちひろの絵の世界を“体感”する。	3月1日～5月9日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅱ> 走る！跳ねる！ーちひろ・子ども百態	「子どもの肢体の魅力はかぎりない」と語ったちひろ。子育てのなかで、わが子や子どもたちの姿を日常的にスケッチに留め、どのような恰好もモデルなしで描くことができたという。本展では、躍動感あふれる子どもの動きを、ちひろがどのようにとらえ、表現したかを探る。	5月13日～7月4日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅲ>いわさきちひろの歩み	生涯、子どもをテーマとして描き続けた画家いわさきちひろ。本展では、紙芝居、教科書、絵雑誌、絵本などのために描かれた作品を、資料や写真とともに展示し、55年の人生と画業を紹介する。大正から昭和にかけての激動の時代を生き、子どものしあわせと平和を願い、画家として活躍したちひろの全貌を展覧する。	7月8日～9月12日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅳ>ちひろと旅する信州	両親の故郷であり、終戦を迎えた地でもある信州は、ちひろの心のふるさとだった。本展では、松川村や松本、安曇野、小谷温泉などのスケッチや、黒姫高原の山荘で描いた絵本など、信州の自然や風土から生まれた作品の数々を資料とともに展示し、ちひろと信州の関わりを紹介する。	9月16日～11月7日	安曇野ちひろ美術館
		子どものための展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部の再現、7つの穴をのぞいて楽しむ「のぞき箱」の他、自由に参加できるワークショップなど、トットちゃんの世界を体感し、子どもたちの目線で楽しむことのできるプログラムや展示を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
		ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像等により、ちひろの人間像を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	【世界の絵本画家コレクション展】	<開館20周年記念Ⅰ> ちひろ美術館コレクション 旅する絵本	絵本には「旅」をテーマにした作品が多く見られる。本展では、コレクションのなかから、知らない土地や異国への憧れ、空想世界への冒険、旅情を誘う風景との出会いなど、旅へとつながる作品の数々を紹介する。	3月1日～5月9日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅱ> ちひろ美術館コレクション 子どもの世界・世界の子ども	歴史や文化、自然、社会情勢などの異なる地域で、絵本画家たちは「子ども」をどのようにとらえ、描いてきたのだろうか。本展では、コレクションのなかから、「子どもの心」「社会のなかの子ども」「子どもの夢」などをテーマに、武田美穂の『おかあさん、げんきですか。』やジョン・バーニンガムの『おじいちゃん』、ポロルマー・パーサンズレンの『ぼくのうちはゲル』など、子どもを描いた作品の数々を紹介する。	5月13日～7月4日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅲ> ちひろ美術館コレクション 貼る！コラージュの絵本	画面にさまざまな素材を貼り付ける「コラージュ」の技法は、絵本でも表現技法のひとつとして用いられてきた。手彩色した薄紙を切り貼りするエリック・カール、穀物や葉、梱包材など多様なものを貼り付けるクラウディア・レニヤツツイなど、画家によって使われている素材も異なる。さまざまな質感が織り成す、コラージュの多彩な表現を紹介する。	7月8日～9月12日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅳ> ちひろ美術館コレクション よりどりみどり 世界の鳥	人間にとって身近な動物である鳥は、美しいフォルムや色で、古代から人々を魅了し、美術作品にも数多く登場する。描かれた鳥たちの姿には、各地の地域性ととも、画家たちの個性も表れている。本展では、コレクションのなかから、世界各国の鳥を描いた作品の数々を紹介する。	9月16日～11月7日	安曇野ちひろ美術館
	【企画展】	<開館20周年記念Ⅰ> <企画展>奈良美智がつくる茂田井武展 夢の旅人	「茂田井武の美意識は生活のなかに息づき、それゆえ逆説的に崇高だ。彼の絵のなかには西洋も東洋もなく、ただ純粋な魂だけがある。」と語るアーティスト・奈良美智が、茂田井の絵を選び、展覧会を構成する。欧州放浪のなかで描いた画帳「続・白い十字架」や絵本『セロひきのゴーシュ』など、時代を超えて奈良の心に響く、茂田井武の作品を展示する。	3月1日～5月9日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅲ> <企画展>日本の絵本100年の歩み	1910年代に子ども向けの雑誌「子供之友」や「赤い鳥」が相次いで創刊され、大正デモクラシーの機運を背景に、童話、童謡、童画の運動から芸術性の高い絵雑誌や絵本が生まれた。第二次世界大戦を経て、ちひろをはじめとする個性的な絵本画家たちにより、絵本は再び隆盛期を迎えた。今日までの100年におよぶ日本独自の豊かな絵本表現の軌跡を検証する。	7月8日～9月12日	安曇野ちひろ美術館
		<開館20周年記念Ⅳ> <企画展>日本デンマーク国交樹立150周年 イブ・スパンク・オルセンの絵本展	デンマークの国民的画家であり、国際アンデルセン賞画家賞を受賞した絵本画家でもあるイブ・スパンク・オルセン。代表作『つきのぼうや』『アンデルセンの童話』などの絵本原画のほか、ポスター、アニメーションなどを展示し、その魅力を紹介する（共催：メディアリンクス・ジャパン）。	9月16日～11月7日	安曇野ちひろ美術館
	【絵本の歴史展】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代（印刷本）」の3つの時代に分け、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
	【講演会】	「高畑勲がつくるちひろ展」関連企画 講演会「高畑勲が語る ちひろの魅力」	ちひろの作品から創作のインスピレーションを得ていたという高畑勲が、その審美眼を通して、新たなちひろの絵の魅力を語る。	4月16日	安曇野ちひろ美術館
		「いわさきちひろの歩み」展関連企画 松本猛講演会「母・いわさきちひろの歩み」	いわさきちひろの息子である松本猛が、母ちひろの人生や画家としての歩みについて語る。	7月29日	安曇野ちひろ美術館
	【ギャラリートーク】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
	■他館と提携する展覧会・講演会、ギャラリートーク等	【展覧会】	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフによる複製画展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行う。合わせてギャラリートークや講演会、水彩技法ワークショップなども実施する。	通年
				7月11日～8月31日	戦争と平和の資料館ピースあいち（愛知県名古屋）
				7月22日～8月22日	高梁市歴史美術館（岡山県高梁市）
		日本の絵本のあゆみ展	当館のコレクション作品の複製画や歴史展示資料、および国会図書館（国際子ども図書館）の資料をあわせて、日本の子どもの本のあゆみを絵因果経から現代まで紹介する。	11月1日～11月30日	国立国会図書館国際子ども図書館
【ギャラリートーク等】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説するギャラリートークと、いわさきちひろの水彩技法体験ワークショップを開催する。	随時		

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究				
作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持ち、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品管理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブス	支持体、画材とも脆弱な水彩画である、いわさきちひろ作品のデジタル・アーカイブスを進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示にむけて、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	ちひろ美術館・東京の開館40周年・安曇野ちひろ美術館開館20周年にあたり、両館で開催する展示ならびに、国際子ども図書館での絵本の歴史展に向けて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進め、魅力的な絵本の要素を研究する。	通年	両館
作品・資料の調査・研究	いわさきちひろ作品目録	いわさきちひろ作品の基礎データ(制作年・技法・サイズ・初出等)の完備を目指して調査を進め、主要図版とともに「いわさきちひろ作品目録」にまとめる。この機会に個人蔵など、当館所蔵以外のちひろ原画についても調査を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、「美術館だより」や図録、HPを通じて公開する。また、それら図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈する。	通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップする。	通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	開館40年・20年記念 連続トーク	対談:奈良美智x高畑勲「絵と文学」(仮)、トークセッション「絵本の翻訳のありかた」など、絵本や絵本美術館にまつわるトークを行う。	8月30日、ほか	紀伊国屋サザンシアター、ちひろ美術館・東京、ほか
	ガーデントーク ちひろの庭の花めぐり	「ちひろの庭」を中心に、作品との関連やいわさきちひろが愛した草花等のエピソードを紹介する。	3月26日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの水彩技法体験ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	7月21日～23日、2018年1月2日～3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。	4月1日、7月1日、9月16日、11月18日	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。	10月1日、2018年1月14日	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。	10月1日、2018年1月14日	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会「—今日から実践できる— 子どもに気持ちが伝わる話し方」	「子どもの幸せと平和のためには、よい親子関係が不可欠。親業訓練では、「子どもの本当の気持ちを聞く」「親の気持ちを話す」「対立を解く」という3本柱で親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ(講師:田中満智子・親業訓練協会インストラクター)。	10月12日	ちひろ美術館・東京
	ファーストミュージアムデーあかちゃんと楽しむ安曇野ちひろ美術館	乳幼児とその保護者を対象に、子どもと一緒に美術館や絵本をたのしむ講座を開催する。	6月3日	安曇野ちひろ美術館
	「ちひろの歩み」展関連企画 ドキュメンタリー映画「いわさきちひろ27歳の旅立ち」上映会	ちひろのドキュメンタリー映画を通して、ちひろの人生と絵に込められた思いを紹介する。	9月2日	安曇野ちひろ美術館
	「日本の絵本の100年展」関連企画 新進絵本画家による子どもと楽しむワークショップ	「日本の絵本の100年展」出展の絵本画家とともに、子どもと楽しむ造形ワークショップを行なう。	会期中	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの水彩技法体験ワークショップ	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	11月4日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』関連活動	ちひろの絵が数多く掲載されている『窓ぎわのトットちゃん』の様々なエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の方々と地元の学校の協力を得て、館内やトットちゃん広場にて開催する。	通年	安曇野ちひろ美術館
	学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ、展示解説、絵本の読み聞かせ等の活動を行なう。	8月1日～16日
出前授業		いわさきちひろやちひろの技法について、学校等に出向いて出前授業を企画、実施する。	随時	両館
来館団体への各種教育プログラム		授業や修学旅行などで来館した学校等を対象に、ちひろの水彩技法ワークショップや美術館探検、読み聞かせなどを組み合わせたプログラムを行なう。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
学校との提携活動	スクールミュージアム	長野県下の希望校を対象に、展示会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展示会が開催できるよう生徒キュレーター育成を行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館
	学芸員実習、インターンシップ生の受入	学芸員実習希望者の受入と、武蔵野美術大学などからのインターンシップ生の受入を行う。	随時	両館

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本が楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。	随時	両館
平和のパネル展	平和のパネルを希望する施設・団体・学校等で掲示	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施(東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」)	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、各病院からの求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。	随時	両館

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ等	シンガポールにおけるAFCCへの参加	シンガポールで開催されるAFCC (Asian Festival of Children's Contents)に参加し、2016年「フォーカス国日本」の成果を開催委員に伝えるとともに、将来にむけアジアの各団体参加者との交流を深める。	5月	シンガポール
	韓国・ソウル市立図書館における「ちひろ展」の開催	いわさきちひろの代表作を、韓国でもロングセラーの『窓ぎわのトットちゃん』の作品とともに、ピエゾグラフで紹介する。	4月26日～5月28日	ソウル
	台湾国立図書館での「日本の絵本の歴史」展の開催	絵巻から現代の絵本に至る日本の絵本のあゆみを、台湾における日本の絵本や絵雑誌とともに、資料とピエゾグラフで紹介する。	8月5日～9月10日	台北
	中国 上海国際児童書ブックフェア参加と展示準備	上海のブックフェアに参加し、交流を深めるとともに、同フェアでの2018年のちひろ生誕100年展に向けて準備を進める。	11月	上海
	インドネシアにおけるいわさきちひろの普及	インドネシアの関係団体と連携し、ピエゾグラフによる「ちひろ展」の準備や普及を行う。	11月	インドネシア
海外からの研修受入と交流	海外の絵本・絵本美術館関係者の視察・研修受け入れ	韓国・中国等の絵本画家、絵本美術館関係者、研究者に当館の展示や保存技術、理念等を研修し、交流する。海外からの関係者の視察に随時対応する	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY (International Board on Books for Young People)、並びに、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、適時、提携活動を行っていく。	随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための情報収集	世界的な絵本美術館ネットワークの設立のための準備を行う。	随時	両館
	海外の図書館等へのちひろの絵本の普及	海外の国際交流基金や公立図書館等に、ちひろの絵本を寄贈し、普及に努める。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ指導等	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行っていく。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ指導等	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本が楽しめるよう支援していく。	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----